

第3章 予算（人件費の見積もりを含む）、収支計画及び資金計画

第1節 年度計画における目標設定の考え方

予算、収支計画、資金計画について、別表 - 1～3 のとおり計画し、これを適正に実施することとした。

第2節 令和4年度における取組

- 1 予 算（別表 - 1 のとおり）
- 2 収支計画（別表 - 2 のとおり）
- 3 資金計画（別表 - 3 のとおり）

(1) 予算

別表 - 1

(単位：百万円)

区 分	計画額(A)	実績額(B)	差額(B-A)	備 考
収入	9,476	11,674	2,198	
運営費交付金	8,733	8,933	200	運営費交付金【SIP】があったことによる増。
施設整備費補助金	271	2,060	1,789	前年度からの繰越による増。
技術研究開発費補助金	-	289	289	技術研究開発費補助金があったことによる増。
受託収入	326	256	△70	受託研究等の依頼が予定を下回ったことによる減。
施設利用料等収入	146	107	△39	財産賃貸収入等が予定を下回ったことによる減。
その他事業収入	-	5	5	科学研究費補助金間接費収入があったことによる増。
寄附金収入	-	2	2	寄附があったことによる増。
雑収入	-	21	21	還付消費税等があったことによる増。
支出	9,476	10,775	1,299	
業務経費	3,673	3,220	△453	翌年度への繰越による減。
施設整備費	271	2,060	1,789	前年度からの繰越による増。
技術研究開発費補助金	-	289	289	技術研究開発費補助金があったことによる増。
受託経費	280	290	9	受託研究等の依頼が予定を上回ったことによる増。
人件費	4,695	4,452	△243	支給実績が予定を下回ったことによる減。
一般管理費	557	464	△93	執行実績が予定を下回ったことによる減。

(注) 単位未満を四捨五入しているため合計が合わない場合がある。

(2) 収支計画

別表 - 2

(単位：百万円)

区 分	計画額 (A)	実績額 (B)	差額 (B-A)	備 考
費用の部	9,477	10,345	869	
経常費用	9,477	10,345	869	主に研究業務費が予定を上回ったことによる増。
研究業務費	7,077	8,074	997	主に保守・修繕費の増。
受託業務費	280	288	8	受託研究等の依頼が予定を上回ったことによる増。
一般管理費	1,849	1,583	△266	主に一般管理費の執行実績が予定を下回ったことによる減。
減価償却費	271	399	127	運営費交付金等で取得した資産の減価償却費による増。
その他経常費用	-	2	2	主に過年度支出があったことによる増。
収益の部	9,475	10,509	1,034	
運営費交付金収益	8,733	7,397	△1,336	主に一部の研究業務を翌年度に繰り越したことによる減。
施設利用料等収入	146	107	△39	財産賃貸収入等が予定を下回ったことによる減。
その他事業収入	-	5	5	科学研究費補助金間接費収入があったことによる増。
受託収入	326	413	87	受託研究等の依頼が予定を上回ったことによる増。
施設費収益	-	1,552	1,552	預り施設費から施設費収益へ振り替えたことによる増。
補助金等収益	-	277	277	技術研究開発費補助金があったことによる増。
寄附金収益	-	0	0	
資産見返負債戻入	270	382	112	運営費交付金等で取得した資産の減価償却費に係る資産見返負債戻入が予定を上回ったことによる増。
賞与引当金見返に係る収益	-	333	333	賞与引当金繰入に係る賞与引当金見返を計上したことによる増。
退職給付引当金見返に係る収益	-	23	23	退職給付費用に係る退職給付引当金見返を計上したことによる増。
その他収益	-	19	19	主に消費税の還付等があったことによる増。
臨時損失	-	0	0	
臨時利益	-	3	3	主に貸倒引当金戻入等の発生による増。
純利益（△純損失）	△1	167	168	
前中長期目標期間繰越積立金取崩額	1	1	0	
総利益	-	168	168	

(注) 単位未満を四捨五入しているため合計が合わない場合がある。

(3) 資金計画

別表 - 3

(単位：百万円)

区 分	計画額(A)	実績額(B)	差額(B-A)	備 考
資金支出	9,476	10,938	1,462	
業務活動による支出	9,205	9,686	480	前中長期目標期間における積立金を国庫納付したことによる増。
投資活動による支出	271	1,252	981	前年度施設整備費の繰越による増。
財務活動による支出	-	0	0	
資金収入	9,476	11,703	2,227	
業務活動による収入	9,205	9,641	435	
運営費交付金による収入	8,733	8,933	200	運営費交付金【SIP】があったことによる増。
施設利用料等収入	146	125	△21	財産賃貸収入等が予定を下回ったことによる減。
受託収入	326	182	△144	受託研究等の依頼が予定を下回ったことによる減。
補助金等収入	-	289	289	技術研究開発費補助金があったことによる増。
寄附金収入	-	2	2	寄附金があったことによる増。
その他の収入	-	109	109	主に消費税の還付等があったことによる増。
投資活動による収入	271	2,062	1,791	
施設費による収入	271	2,060	1,789	前年度からの繰越による増。
その他の収入	-	2	2	敷金・保証金の返戻があったことによる増。
期首残高	-	5,335	5,335	前年度からの繰越金
期末残高	-	6,100	6,100	翌年度への繰越金

(注) 単位未満を四捨五入しているため合計が合わない場合がある。

第4章 短期借入金の限度額

令和4年度は、法人にとっての予見し難い事故等の発生がなかったため、短期借入金を行わなかった。

第5章 不要財産の処分に関する計画

なし

第6章 重要な財産の処分等に関する計画

なし

第7章 剰余金の使途

令和4年度は、剰余金の金額などを勘案した結果、「研究開発及び研究基盤整備等目的積立金」の申請を行っていない。